






お花の栽培シリーズ「ラベンダー」

2007年7月	文月(ふみづき)・七夜月(ななよづき)・七夕月(たなばたづき)・相月(そうげつ)・蘭月(らんげつ)・涼月(りょうげつ)・秋初月(あきはつき)	●暑さを防ぐ対策と秋花壇の準備
<p>●蒸し暑い日が続きます。草花もダメージを受けやすい時期です。                  ●だからといって 水のやりすぎは禁物です。草花が快適にすごせる対策をたてましょう。</p>		
庭木の作業	・コニファーなどの常緑樹の植え替えと 整枝の時期。	
草花の作業	・秋の花壇用の草花の種まきをしましょう。 ・日陰の場所などに移動させて、あまり水を与えないようにしましょう。	

今月の誕生花	ユリ、ダリア、ジニア	
今月の花	<p>アンスリウム                      花言葉 / 煩惱 (赤) 情熱 / (白) 熱心</p>	<div data-bbox="837 936 1259 1413" data-label="Image"> </div> <p>「情熱」という花言葉どおり、かなり刺激的な色の、真紅の花びらが 特徴の花と 思われていますが、これは 実は花びらではなく、仏炎苞(ぶつえんぼう)と呼ばれる サトイモ科特有の苞。                      本当の花は、この仏炎苞の 付け根の部分から、棒のように伸びた軸の先についているものです。</p> <p>ちなみに、別名の「大団扇」とは、仏炎苞が 団扇のように見えることから つけられました。</p> <p>日本で 花材として 広まりはじめたのは、昭和20年代後半です。                      進駐していたアメリカ軍によって、日本に 紹介されました。</p> <p>ちょうど その頃、まさに日本は、前衛生け花ブームの全盛期。                      葉もハート型で かわいく、特徴タップリの この花は、生け花の世界で大流行しました。                      この花は、一般花材としても すぐに 人々に受け入れられ、溶け込みました。</p> <p>原産地はコロンビア、エクアドル(熱帯アメリカ)、西インド諸島。サトイモ科アンスリウム属の非耐寒性多年草。草丈は30cm~1m。開花時期は周年。最盛期は6~8月。葉の形状は、卵円状か細長い心臓形、または長楕円形、根出葉。花色は、赤・ピンク・黄・オレンジ・白・緑。英名フラミンゴ・リリー(Flamingo Lily)、オイルクロス・フラワー(Oilclothflower)。別名ベニウチワ、大団扇(おおうちわ)、牛の舌(うしのした)、オオベニウチワ</p>

# お花の栽培シリーズ

## 今月の花 ラベンダー

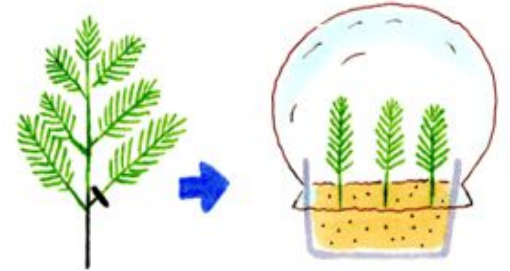
日当たり  日なた	水やり  乾燥きみ	気温  15~20℃	草丈  60~100cm	花色 
--	--	---	---	--

「ハーブの女王」と呼ばれ、もっとも人気のあるハーブの一つです。  
香りが強くて 長持ちし、気持ちをリラックスさせる作用があるので 入浴剤として利用されます。

乾燥した冷涼な気候を好むので、日当たりがよく水はけのよい場所で育てます。  
過湿は 禁物なので、できれば 雨のあたらない場所が理想です。  
とくに 梅雨どきは 雨よけの工夫が必要です。  
くれぐれも 水のやりすぎには 注意します。

●挿し芽でふやそう!!

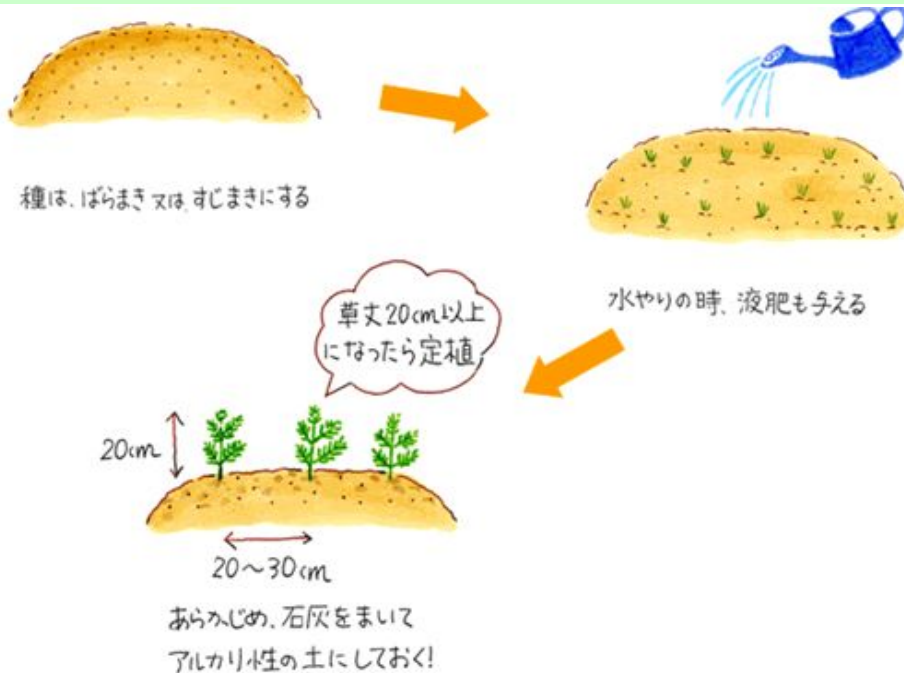
ビニールでおおう



茎を適宜切り、清潔な用土に挿します…。



### ●種まきからの 育て方



種は、ばらまき又はすじまきにする

水やりの時、液肥も与える

草丈20cm以上になったら定植

20cm

20~30cm

あらかじめ、石灰をまいてアルカリ性の土にしておく!

